

# 学園点描

寒波がやってきました。用務員のAさんはお正月から除雪作業をしています。

《H学園》

NO.19

R8. 1. 15

担当：校長

12月21日（日）にS文化会館で県アンサンブルコンテストS地区大会が行われ、管打楽器 8重奏が見事金賞に輝き県大会出場を決めました。また、管打楽器 6重奏は銅賞をいただきました。

## 誰も見ていない場所で

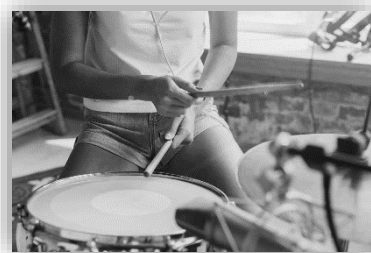
雪の降る朝、8年生のK・Kさんが登校してきたので、アンサンブルでの演奏を見た感想を伝えました。吹奏楽部に所属しているK・Kさんは、8重奏のドラムを担当していました。

「ドラムはある程度才能が影響するんじゃないかなあとと思っているよ。いろいろなリズムを刻むのって難しいよね」とわたしが言うと、

「そういってもらえると嬉しいです。打楽器ってなかなか注目されないから……。でも、ロックバンド King Gnuのドラマー勢喜遊（せき ゆう）さんの動画を見たりして毎日、家で練習しています。」とK・Kさん。

見えないところで、努力しているんだなあと思いました。

何かに関心を持って、熱中することは、思春期のこの時代にはとても素晴らしい経験になるはずです。

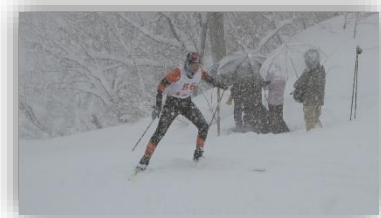


何年前になるのでしょうか。K山中学校で校長をしていたときに、クロスカントリースキーの監督として、週末から蔵王坊平で過ごすことになりました。金曜日の仕事が終わってから、真っ暗の中、蔵王坊平に向かいます。暗くて、先が見えないほどの猛吹雪の中、やっとのことで宿泊地のロッジにたどり着きます。選手達はすでに練習をしていて、その後はワックスの調整をしていました。「お疲れ様です！」私を見つけて、部員たちが元気にあいさつをしてくれました。

大会期間中は、毎日夜にミーティングです。明日が最終日の大会2日目の夜、スキーのコーチが、明日の大会のポイントや、準備の大切さ、これまでの生活でダメなところを厳しくも、温かく指導してくれています。

「校長先生からも一言お願いします。」とコーチから促されました スキーに関して門外漢のわたしには、いまさら選手に言うことなんて思い当たるはずありません。

クロカンスキー大会期間は、朝の5：30分から、散歩や体操が始まります。冬山の早朝は真っ暗闇で、時々吹く吹雪の寒い中、選手達が黙々と大会の準備に備える姿は、その場で一緒にいた者しかわからないものです。



最近、子どもたちがむずかしいことに挑戦する場面が、以前より少なくなっているのではないかと感じるがあります。今の子どもたちは、できるだけ無駄を省き、短い時間で目標にたどり着こうとする気持ちが強くなっているようにも思います。

けれども、本当に人の目に届く場所に立つためには、人に知られないところで、目立たない努力を重ねる時間が欠かせません。努力が見えにくい時代だからこそ、そこに至るまでの歩みや頑張りを大切にすることを、経験から得てほしいものです。

最終日のミーティングの時にいただいた時間で、わたしはこんなことを言いました。

「こんな過酷な競技に青春を打ち込んでいることは多くの友人達は知りません。それでも精一杯やりましょう。みんなが大人になって、家族をもったときに、胸を張って、中学時代はクロカンに一生懸命取り組んだと胸を張って語るためです。もし全力を出し切れたら、きっとその後の人生において、この経験が苦しさから助けてくれます。」とだけ話しました。

大会が終わった次の日、Y新聞に、K山中スキー部の男女リレー優勝が掲載されました。記事を見て、早朝の暗闇の中で吹雪に負けずに走っている部員の姿を想像するのは、わたしだけかもしれません。

K・Kさんのドラムへの情熱や、クロスカントリースキーに打ち込む中学生の姿。

少年時代こそ、結果ではなく、何かに本気で向き合った経験そのものの価値を伝えたいのです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。